

大脇の可児川左岸に沿って蕾や花を付けたハナイカダ、コクサギ、アオキ等の雌雄を調べながら歩きました。奥のニリンソウ群生地は見頃で、その中に混じって咲くイチリンソウとの花や葉の違いも観察しました。

次に七宗本谷に移動すると出発時に大きな数匹のヒルが出迎えてくれました。バイカオウレンは予想通りすでに種子になっていて、溪流の日陰に残花が数輪見られただけでした。フサザクラの花にも間に合いませんでしたが、ヒカゲツツジ、ミツバツツジ、オオカメノキ、タムシバ、キブシ等の樹木の花、トウゴクサバノオ、ユリワサビ、ミヤマカタバミ、ハルトラノオ、ショウジョウバカマ、数種類のネコノメソウ等の草花を愛で、春の溪流沿いの散策を楽しむことができました。

(後藤)

[その他観察したもの]

大脇：ヤマネコノメソウ、カタクリ、ショウジョウバカマ、シキミ、ヌリトラノオ、ヒトツバ、シシラン 等
七宗：スミレ、コミヤマカタバミ、ヒメカンスゲ、セッコク、アカシデ、モミジイチゴ、ヤマグルマ 等

